

## 相馬市の除染に伴い発生した枝葉の試験焼却の結果について

環境省は、平成25年10月9日から12日までの4日間、国が相馬市内に建設した仮設焼却炉で、相馬市の除染に伴い発生した枝葉100トンの試験焼却を行いました。その結果、焼却炉の排ガス中から放射性物質は検出されませんでした。  
(詳細は下表のとおり。)

### 【試験焼却の結果】

#### ○ 試験焼却の方法

相馬市の災害廃棄物と除染廃棄物との混焼による試験焼却

#### ○ 試験焼却後の放射性物質濃度

- ・ 排ガス中の放射性セシウムは、バグフィルターにより除去しています。平成25年2月からの災害廃棄物の焼却開始後、継続して排ガス中の放射性物質濃度を測定していますが、これまで放射性セシウムは検出されていません。
- ・ 焼却炉周辺の空間線量率も、試験焼却の前後を含め、変化はありませんでした。

#### ○ 試験焼却の結果

実施日		10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14
焼却量(t)	除染枝葉	0	0	16.5	16.5	33.5	33.5	0	0
	災害廃棄物	204.5	204.5	208.5	208.5	215.5	215.5	240.6	62.1
混焼率(%)		0	0	7.3	7.3	13.5	13.5	0	0
排ガス中放射性物質濃度(Bq/m <sup>3</sup> )	セシウム134	ND							
	セシウム137	ND							
空間線量率(μSv/h) (焼却施設入口)	朝	0.08	0.09	0.08	0.09	0.08	0.10	0.09	0.09
	昼	0.08	0.09	0.09	0.08	0.08	0.10	0.08	0.09
	夕	0.08	0.10	0.09	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09

(ND: 検出下限値[ろ紙部、ドレン部のセシウム134、セシウム137濃度が各2Bq/m<sup>3</sup>(N)]未満)

※比較のため、試験焼却前後の10月7日～14日の数値を記載しています。

以上